

# 平成28年度事業報告

## 第1 総務事項

### 1. 会員状況

区分	平成29年3月31日現在の 会員数及び所属員口数		平成28年3月31日現在 との増減比較	
	会員数	所属員口数	会員数	所属員口数
通常会員	281	28,822	減 4	減 341
免許人団体	258	27,016	減 4	減 251
		海岸局		減 5
		短波船		減 19
		中短波船		増 53
		超短波船		減 129
		マリンホーン		減 45
通信士団体	23	1,806		減 90
特別会員	12	12		
漁業者団体	11	11		
個人	1	1		
賛助会員	21	—	増 1	—
名誉会員	16	—	減 1	—
合計	330	28,834	減 8	減 341

### 2. 事業及び会計の監査

平成29年4月11日、本会事務所において、次の監事により平成28年度業務及び財産に関する定例監査が行われた。

監事： 富田 重基、小林 和夫

### 3. 官庁報告事項

平成28年6月6日、内閣府に公益目的財産額の確定に係る申請書類を電子申請した。

なお、記載内容の一部誤りがあったため、10月28日修正申請した。

#### 4. 法人税確定申告

(1) 平成28年5月27日、東京上野税務署に平成27年度法人税確定申告書を提出した。

(2) 平成28年5月30日、東京都台東区税務所に平成27年度法人住民税の確定申告書を提出した。

#### 5. 会 議

##### (1) 総 会

① 平成28年度 第1回定時総会 (平成28年5月25日)

出席者 会員数232 (うち委任状 53 書面決議書 154)  
来賓4名

議長 八木 一弘

議事録署名人 土屋 和、山崎 信寿

##### 議 事

第1号議案	平成27年度事業報告について	(提案どおり承認)
第2号議案	平成27年度決算報告について	( 〃 )
第3号議案	平成28年度事業計画 (案) について	( 〃 )
第4号議案	平成28年度収支予算 (案) について	( 〃 )
第5号議案	役員の変更について	( 〃 )
報告事項	公益目的支出計画実施報告書について	

##### (2) 理 事 会

① 第1回理事会 (平成28年4月21日)

出席者 理事14名 (うち 欠席4名)  
監事2名

議長 八木 一弘

議事録署名人 八木 一弘、景山 一夫、富田 重基

##### 議 事

第1号議案	平成27年度事業報告について (総会附議事項)	(提案どおり承認)
第2号議案	平成27年度決算報告について (総会附議事項)	( 〃 )
第3号議案	第59回会長表彰について	( 〃 )
第4号議案	名誉会員の承認について	( 〃 )
第5号議案	本部理事の候補者並びに特別会員について	( 〃 )

第6号議案 任期満了に伴う役員の改選について ( " )

その他会務の運営について

平成27年度 公益目的支出計画実施報告書について

会費の減免の状況について

旧スプリアス規格への無線設備の対応(案)について

② 第2回理事会(平成28年5月25日)

出席者 理事14名(うち 欠席3名)

監事2名

議長 八木 一弘

議事録署名人 八木 一弘、富田 重基、小林 和夫

議事

第1号議案 会長、副会長及び専務理事の選任について (提案どおり承認)

その他会務の運営について

③ 第3回理事会(平成28年10月26日)

出席者 理事14名(うち欠席 3名)

監事2名

議長 八木 一弘

議事録署名人 八木 一弘、富田 重基、小林 和夫

議事

第1号議案 平成28年度の上半期の収支状況について (提案どおり承認)

その他会務の運営について

④ 第4回理事会(平成29年3月7日)

出席者 理事14名(うち欠席 2名)

監事2名

議長 八木 一弘

議事録署名人 八木 一弘、富田 重基、小林 和夫

議事

第1号議案 平成28年度決算見込みについて (提案どおり承認)

第2号議案 平成29年度事業計画(案)について(総会附議事項) ( " )

第3号議案 平成29年度収支予算(案)について(総会附議事項) ( " )

第4号議案 個人賛助会員の入会について ( " )

その他会務の運営について

### (3) 本部役員会

#### ① 第1回本部役員会議(平成28年4月21日)

平成28年度第1回理事会提出議案並びに会務の運営について審議した。

#### ② 第2回本部役員会議(平成28年5月25日)

平成28年度定時総会及び第2回理事会提出議案並びに会務の運営について審議した。

#### ③ 第3回本部役員会議(平成28年10月26日)

平成28年度第3回理事会提出議案並びに会務の運営について審議した。

#### ④ 第4回本部役員会議(平成29年3月7日)

平成28年度第4回理事会提出議案並びに会務の運営について審議した。

### 6. 第59回会長表彰被表彰者(局)

平成28年5月25日に開催された平成28年度定時総会において、次のとおり表彰を行った。

#### 漁業無線功労者

(多年に亘り漁業無線の円滑な運営とその普及発展に寄与した功績)

今橋 照男	第二住吉丸 船主
塩谷 正人	中国地方漁業無線連合会 監事
永島 浩一郎	香川県漁業協同組合連合会 総務部長

#### 優良漁業無線通信士

(多年に亘り漁業無線通信士として通信の正常な運用と後輩の育成に尽力した功績)

大棒 弘	第88盛勝丸 通信長
小松 茂蔵	大船渡漁業用海岸局 局長
大井 宏良	加賀漁業用海岸局 局長
西村 信三	鹿児島県漁業無線局 局長

#### 優良漁業用海岸局

(多年に亘り違反通信の防止、漁船の船舶局の指導その他漁業用海岸局の運営について優秀な成績を収めた功績)

大畑漁業用海岸局
金石漁業用海岸局
窪津漁業用海岸局

### 7 名誉会員の承認

平成28年4月21日に開催された平成28年度第1回理事会において、下記のとおり名誉会員

が承認された。

川端 一廣 平成6年5月～平成27年5月 (社) 全国漁業無線協会理事

## 8. 役 職 員 (平成29年3月31日現在)

(1) 役 員 16名 (会長1名、副会長1名、専務理事1名、理事11名、監事2名)

(2) 職 員 2名 (うち嘱託1名)

配置区分	現 在 数	平成28年度中の異動		備 考
		採 用	退 職	前年度末
本 部	2	1	0	退職1

## 第2 業 務 事 項

### 1. 漁業無線事業

#### (1) 漁船安全情報伝達事業

漁船の航行及び安全を確保するため、沿岸・沖合・遠洋の漁業に従事する漁船を対象として、漁業指導に関する事項及び漁船の航行・操業の安全に関する諸情報を周年に亘り全国の漁業用海岸局に提供し、併せて現存船に対するGMDSS（海上における遭難及び安全に関する世界的な制度）の代替措置を担保してきた。又、漁業無線局からの依頼に基づく海難救助情報を提供した。

システムトラブル時のバックアップ対策として、平成24年度に設備した予備系自動集配信・監視用パソコンの設備について、釜石無線漁業協同組合の協力を得て、予備系のシステム端末等を釜石漁業用海岸局に設置してシステムの確実な運用を図ることとし、平成26年4月1日から本格運用した。

平成28年度の安全情報の提供実績は、次のとおりである。

#### 情 報 の 種 類

(単位：件)

指導情報	気象・海象	危険水域	海難救助	電波標識	その他	計
355	34	4,736	5	165	76	5,371

#### (2) 小型漁船緊急支援システム事業

小型漁船の操業中の事故や海中転落等の緊急事態を自動的に知らせる無線システムの普及を諮るため、一般社団法人 神奈川県漁業無線協会が現地実験を行った事業に対し必要な経費の一部を支援し今年度の事業を終了した。

### (3) 漁業無線情報ネットワーク化事業

現存の漁業用海岸局の情報ネットワークを維持し、各局の多様なニーズに対応するため、漁業無線に関する情報の伝達、意見交換、漁種別周波数の運用調整等を低コストでスムーズに行えるウェブサイトを構築、運用を行った。

今後、本システムの有効かつ効率的な運用を目指し、引き続きシステムの改良を進めていく予定である。

### (4) 漁業用海岸局等体制強化事業

#### ① 漁業用海岸局等の体制強化

i) GMDSS体制下における全国的規模の迅速な情報交換を充実させ、漁船の安全確保を図るため、定時連絡実施状況、海岸局所属船舶一覧表の提出を求め漁業無線による適切な指導體制の確立に努めた。

ii) GMDSS体制下における搜索救助機関からの搜索救助通信に関する照会・協力要請等を各漁業用海岸局に迅速に伝達するとともに、併せて各漁業用海岸局における所属船の遭難緊急通報等に関する重要情報の収集及び交換体制の充実に努めた。

iii) 各漁業用海岸局において、所属船の動静及びGMDSS対象船舶等を常時把握し、不測の事態に迅速に対応できる体制維持に努めた。

#### ② マリンホーンについて

沿岸小型漁船が利用しているマリンホーンについて、既設の携帯基地局を引き続き管理運用するとともに、引き続きマリンホーン機器の保守を実施し、「マリンホーン運用の現状」及び「平成34年11月30日付けで廃止が確定しているマリンホーンについての代替システム」について、今後の対応の検討を行った。

### (5) 漁業無線運用事業

漁業用海岸局及び漁船の船舶局の合理的かつ効果的な運用の確保と秩序ある無線通信体制の維持を図るため、漁業無線における周波数及び通信時間等の合理的な使用について、委員会等により関係規程等に定められた範囲で漁業無線の実態に即した当該周波数の運用上の調整並びに関連資料等の作成を行うとともに、漁業無線に関係する法令、制度について調査研究し、関係官庁及び関係団体に対し建議・請願意見具申、要請等を行った。

周波数及び通信時間の調整等並びに関連事項の調査

① 平成28年度版「漁業無線全国通信時間表」を発行した。

② 情報通信委員会

漁業無線の効率的運用を図るため、委員会を開催した。

第1回情報通信委員会 平成28年10月6日

主な議題

- ア スプリアス規制関係、国際VHF再編関係について（総務省基幹・衛星移動通信課）
- イ 海上気象等に係る最近の課題について（気象庁予報官）
- ウ 漁業無線の発災時の重要性について（釜石局）
- エ 大震災時 バックアップ通信体制の構築について（油津局）
- オ ブロック提案 災害時における海岸局間の連絡周波数について（茨城県）
- カ 非常通信訓練の概要報告  
（四国漁業無線連合会、中国総通局、小浜局、関東漁業無線連合会）
- キ その他  
閉局、縮小局の報告

第2回情報通信委員会 平成29年3月8日

- ア 情報通信委員の改選
- イ スプリアス関係、その他について（総務省基幹・衛星移動通信課）
- ウ 北朝鮮による弾道ミサイル発射に関して（水産庁）
- エ ブロック提案事項  
全国漁業無線協会主催の全国非常通信訓練について
- オ 海上保安庁と漁業無線の連携について（海上保安庁）」
- カ 報告事項  
深浦局閉局と閉局に伴う業務の引継ぎについて（深浦局、室戸局）
- キ 27MHzDSBデータ通信について（釜石局）
- ク その他（委員会定数の見直しの件）

(6) 資格取得支援事業

無線従事者資格取得のため、講習会について次のとおり後援すると共に周知した。

- ① 第三級海上特殊無線技士養成講習会  
主催 (一社) 神奈川漁業無線協会 協賛 (一社) 全国漁業無線協会
- ② 第一級海上特殊無線技士養成講習会  
主催 鳥取県無線漁業協同組合 協賛 (一社) 全国漁業無線協会
- ③ 第二級海上特殊無線技士養成講習会

- |    |                  |    |               |
|----|------------------|----|---------------|
| 主催 | 茨城県無線漁業協同組合      | 協賛 | (一社) 全国漁業無線協会 |
| ④  | 第二級海上特殊無線技士養成講習会 |    |               |
| 主催 | 鳥取県無線漁業協同組合      | 協賛 | (一社) 全国漁業無線協会 |
| ⑤  | 第二級海上特殊無線技士養成講習会 |    |               |
| 主催 | 石川県漁業協同組合        | 協賛 | (一社) 全国漁業無線協会 |

(7) 漁業無線従事者研修事業

漁業無線従事者の資質の向上を図るため、漁業無線技術研修会を開催した。

平成28年度漁業無線技術研修会

研修科目は次のとおり。

講演会 平成28年11月9日 受講者 16名

① AISの現状と今後

講師：総務省基幹・衛星移動通信課 松井明 課長補佐

海上保安庁交通部企画課 国際技術開発室 野口英毅 課長補佐

② これからの沿岸漁業

講師：(一社) 漁業情報サービスセンター 為石日出生 専務理事

施設見学 平成28年11月10日

総務省関東総合通信局電波監理部 (電波監視施設)

(8) 周知広報活動事業

組織の重要課題である電波法令遵守精神の高揚と違反通信の防止を図るため、各種会合を通じて違反通信防止対策の指導・強化を図るとともに、電波法令遵守月間の設定及びポスターの配布を行った。

1) 電波法令順守運動の実施

総務省の電波利用環境保護周知啓発強化期間にあわせ、6月1日から30日までを電波法令遵守月間と定め、A3版ポスターを作成、漁業用海岸局・無線通信士会・漁業協同組合等に配布し、所属各船に対し法令遵守等について注意喚起と遵守意識の向上を図った。

2) 周知広報活動

漁業無線及び人命・航行の安全に関する諸法令に関する事項その他漁業無線に関連する事項について、会誌「漁業無線」を発行し会員等に配布した。

① 会誌「漁業無線」第119号 (平成28年8月2日発行)

主な記事

ア 平成28年度 水産白書の概要



- イ 平成27年度 第2回情報通信委員会の概要
- ウ 平成28年度第1回定時総会及び第2回理事会の概要
- エ 役員名簿
- オ 第59回会長表彰被表彰者（局）・第66回電波の日の受賞者
- カ 第四級海上無線通信士取得支援の案内
- キ ブロック機関便り
- ク 本部便り

② 会誌「漁業無線」第120号（平成29年1月19日発行）

主な記事

ア 新年のごあいさつ

八木会長、総務省衛星移動通信課 内藤課長、水産庁管理課 藤田課長

- イ 平成28年度版 情報通信白書の概要
- ウ 平成28年度 第1回情報通信委員会の概要
- エ 平成28年度 漁業無線技術研修会の概要
- オ 平成28年度 第3回 理事会の概要
- カ 無線局たより（魚の街・焼津）
- キ ブロック機関便り
- ク 全無協60年のあゆみ
- ケ 電波法令遵守の通知

2 その他の事業

漁業無線に関する功労者等について表彰を行い、叙勲、褒章その他の表彰について候補者を推薦するとともに、選択呼出番号の局別選定、交付等、本協会の目的を達成するため必要な事項について所要の手続きを経て執り行った。

なお、八木 一弘会長が、漁業無線振興功績により平成29年5月16日、平成29年度春の褒章（藍綬褒章）を受賞した。

(1) 表彰及び推薦

漁業無線等の功労者、優良漁業無線通信士及び優良漁業用海岸局の表彰を行った。

(2) 選択呼出番号の選定・交付

シンセサイザー方式の27MHz 1W DSB送受信機を使用する漁業用海岸局及び船舶局に対する選択呼出番号の選定・交付を行った。

(3) 関係団体との連携強化

漁業無線の発展に寄与するため、関係団体と連携を図るとともに、総務省、水産

庁の調査研究会及び関係団体の検討委員会等に参画した。

(4) その他

本協会の目的を達成するため必要な事項について、所用の手続きを経て執り行った。